



身延清稜小だより

身延町立身延清稜小学校 TEL.0556-42-2520
令和4年2月17日 校長 佐野三代司
学校教育目標「進んで学び やさしい心をもち
心身ともにたくましい児童の育成」

感染症対策をしながらも、思いやりの心を大切に

新型コロナウイルス感染症(特にオミクロン株)の蔓延は、未だに先が見通せません。学校の教育活動の範囲を定める「地域の感染レベル」は最高の「レベル3」が続いたままです。ご家庭の皆さんには、毎日のご家族を含めた健康観察、登校の見合わせ、早めのお迎え等、お手数やご心配をおかけしているところです。何とか学校での感染を防ぐため、とご理解をいただきたいと思います。

町内でもちらほら感染についてのニュースをお聞きします。児童やご家族の命を守る感染対策に重点を置くのは当然のこととして、今は誰もがなっても不思議ではない状況、とも言えるかもしれません。

気になるのは、意図せず感染してしまった人への心ない言動がないようにしたい、という点です。右に、令和2年8月の文部科学大臣からのメッセージを再掲しました。1年半が経過していますが、現在に通じるころが多々あると思います。最近の感染の状況を考えると、改めて、思いやりのある学校や社会を作っていきたいと、感じています。



児童生徒等や学生の皆さんへ

新型コロナウイルスが広がってから、皆さんは、学校はどうなるのだろう、この先どうなるだろうと、不安だったのではないのでしょうか。新しい学期を迎えるに当たって、皆さんに伝えたいことがあります。

まず、感染症にかからないようにするには、いくつかの方法があります。すでに皆さんが取り組んでいるように、話をするときにはマスクをしたり、手を洗ったり、具合が悪い場合には学校を休んだりしてもらうことです。そして何より、健康的な生活を送ることが大切です。それでも、これまでも皆さんは風邪をひいたり、インフルエンザになったりしました。今はさらに新型コロナウイルスが課題になっています。

この三つは、症状がよく似ています。ですから、今後、皆さんの誰もがこうした症状を経験することがあるでしょう。具合が悪い人の中には、新型コロナウイルスに感染したと診断される人も身近な人の中から出るかもしれません。もちろん、それが友達だと分かたら自分は大丈夫かなど不安になることもあるでしょう。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気が出てしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなくても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに皆さんの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力してほしいのです。

また、高齢者や病気がちの人は、感染すると症状が重くなってしまう危険があります。自分は元気だから大丈夫ということではなく、そのような人たちに感染させることがないように、思いやりの気持ちを持ってほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症が広がり、皆さんの日々の生活は一変したと思います。以前のようには、友達と会いにくくなり、スポーツや文化に触れる機会も少なくなり、将来への不安やストレスを抱えている人も多でしょう。

これまでも、私たち人間は、新型コロナウイルスのような新しい病気を経験してきました。そのたびに、世界中の研究者が病気の原因を探り、予防方法を見つけたり、薬の開発をしたりしてきました。そして、私たちは、病気と共存していく。この歴史は繰り返されています。新型コロナウイルスも研究が進んで解明されれば、予防と治療ができるようになり、新たな共存生活が始まります。

私たち大人は、皆さんの応援団として、将来の見通しを持ち、未来の社会の担い手である皆さんが学ぶ機会、遊ぶ機会、交流する機会を最大限作っていきます。それまで、皆さんは今自分ができる予防をしっかり行い、将来の目標を持ち、家庭や学校で日々の学びを続けてほしいと願っています。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一

新入児保護者説明会を行いました

4月から本校に入学する新しい1年生は5人です。今月8日(火)には、新しい1年生の保護者の皆さんにお集まりいただき、保護者説明会を実施しました。

例年、この機会には、新しい1年生の子どもたちにも学校へ来てもらい、学校生活を体験して小学校入学への期待を大きく膨らませる大切な行事なのですが、昨年に引き続き、感染症対策のため、保護者の方のみの参加となりました。新しい1年生の顔が見られないのはたいへん残念です。保護者の皆さんに「入学式まで元気に過ごして、元気いっぱい1年生になって学校へ来てください。校長先生やお兄さんお姉さんが楽しみに待っているよ。」と、1年生へのメッセージをお願いしました。入学式は4月6日(水)を予定しています。(来年度の児童数は、全校で50名の予定です。)



コロナ禍でもテレビ会議を使って交流活動ができます

コロナ対策のため、学校行事もいつもの形ではなかなか実施できません。しかし、こういうときだからこそ、ICT教育の一環として、児童会選挙立会演説会と児童総会、身延中学校1日入学を、テレビ会議システムを使い、各教室・各学校をインターネットでつないで行ってみました。本校では、初めての経験でしたが、子どもたちは、カメラの前でも堂々と自分の伝えたいことを発表できていました。今後も、校外との交流等の活動にも活かしていける良い機会となりました。



雪が降っても、元気いっぱい子どもたちです

2月10日の大雪警報による早下校へのご協力、ありがとうございました。児童が安全に帰宅できることを第一に、また、帰宅後安心して過ごせることを考慮して、メールでのお知らせの後、すべてのご家庭から学校へお電話をいただく形とさせていただきました。おかげさまで無事に下校できましたこと、ありがたく思っています。

一方、子どもたちは久しぶりの積雪ということで、雪の積もった校庭に出て元気に遊んでいました。平成26年の大雪のようなことは困りますが、子どもたちにとっては、冬ならではの季節感を味わう意味で、大切な経験だったようです。校庭で遊ぶ元気いっぱいの子どもたちの様子は、見ていて微笑ましくなりました。

